



HOMA GARAGE

CONCEPT BOOK

 HOMA × MotoNAVI

OFFICIAL



<http://homa-p.com/motonavi/>

 HOMA 〒163-0675 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル42階

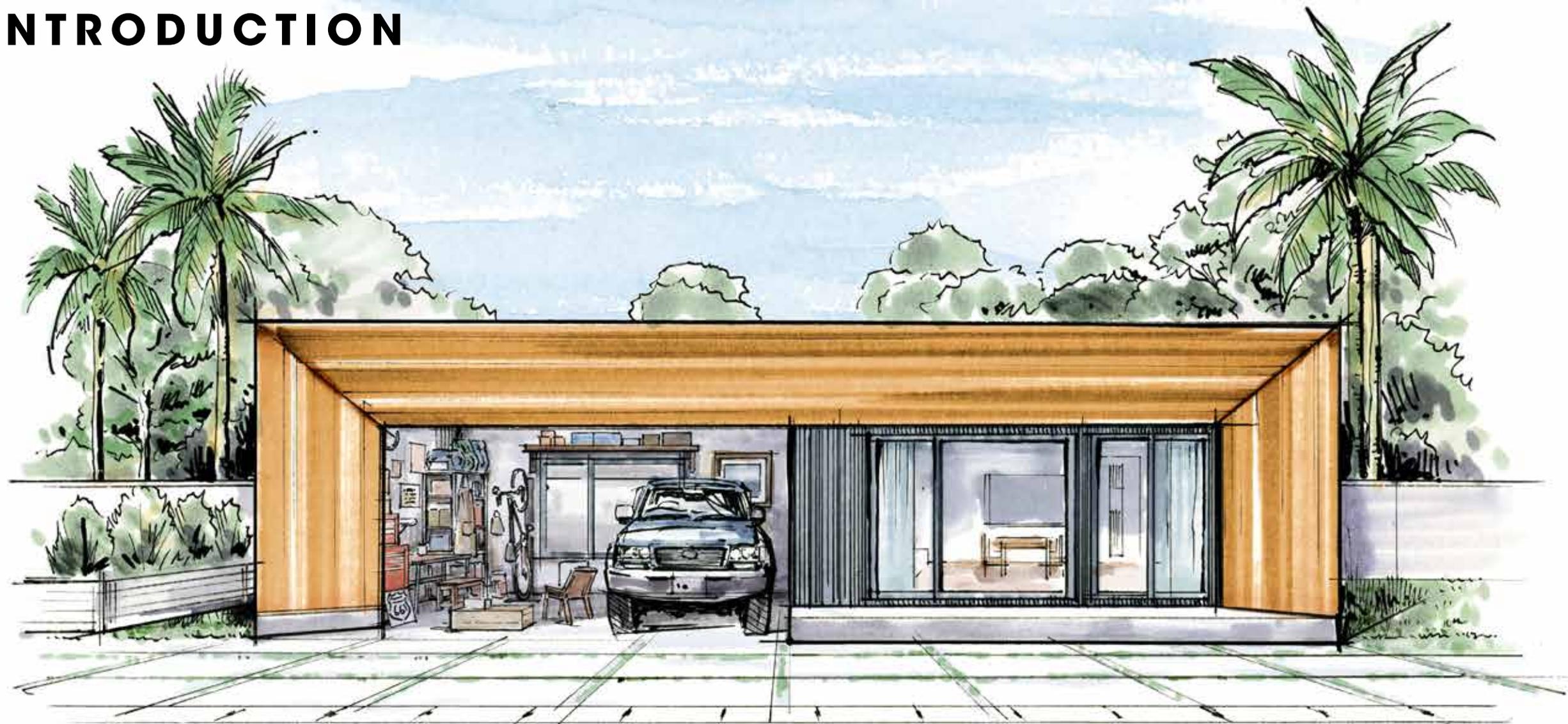
HOMA GARAGE



CONCEPT BOOK

 HOMA × MotoNAVI

INTRODUCTION



“もうひとつの住まい”で 人生の幅が大きく広がる——。

ひとくちに「衣食住」と言っても、そのプライオリティは人によって異なります。さらに、複数所有できる衣や食と比べると、住まいはひとつだけに制限されることが多いもの。だからこそ、思い通りのものを手に入れたら、その喜びもひとしおです。とはいえ、家族や仕事のことを考えると何もかも思い通りにはいきません。ではどうすればいいのでしょうか？ 答えは簡単。もうひとつ、住まいを持つといいのです。「セカンドハウス」という考え方はまだまだ一般的ではないかもしれませんが、でも、もうすでにそんな暮らしを実践している人達があります。それはバイクやクルマを愛する人たち。ガレージとかたちでもうひとつの生活の拠点を持ち、そこで思い思いに趣味の時間を満喫しています。そこでHOMAは、バイクがある暮らしを提案してきた雑誌、「Moto NAVI」とタッグを組み、もうひとつの家としてのガレージハウスを提案します。都心まで1時間半、海にほど近い立地に建つ額縁のような家。仕事に打ち込むウイークデーから一変、週末はガレージのある家で、波の音を聴きながら過ごす。そのコントラストが大きければ大きいほど、きっと心は満たされます。複数所有するバイクの保管場所として使うもよし、家族や仲間との語らいの場として賑やかに過ごすのもよし、子供が巣立てば、夫婦ふたりで過ごす別宅とするのもいいでしょう。主旋律としての自宅と、通奏低音としてのセカンドハウス。そのふたつの住まいが実現するまったく新しい暮らしを、HOMAとMoto NAVIによるプロジェクト、「HOMA GARAGE」がいま、かたちにします。

CONCEPT

シンプルがゆえに多目的に使える フレキシブルな住まい

広い開口部が印象的なインナーガレージを備えたHOMA GARAGEは、額縁のようなスクエアかつ、シンプルなシルエット。十分に個性を発揮しながらも周囲の景観を選ばず、どのような土地にも程よく馴染みます。趣味や家族との時間を思いっきり楽しむためのプラスアルファ空間、“アクティブガレージ”の考え方を取り入れた「スマート・ワンアクティブガレージ」として、愛車や自慢のアイテムを並べてギャラリーのようにしたり、休日に家族や仲間と集まってバーベキューしたり、雨の日は子供の遊び場として活用するなど、どう使うかはオーナー次第。趣味や過ごし方の数だけ、そして休日の数だけ楽しみ方があります。



自分の「好き」を集めた宝箱のような 家でありたい

単に「ガレージ」と言ってしまうのはもったいない！ それくらいこの家のガレージは可能性を秘めています。クルマやバイクを安全に保管できるのはもちろん、趣味のアウトドアアクティビティの道具——たとえばロードバイクやマウンテンバイク、サーフボードにボディボード、カヌーなど、普通のマンションや一軒家であれば収納に困るようなものも、広いガレージがあれば簡単に安心して保管できるのです。また、インナーガレージであるため、時間帯や天候を問わず荷物の出し入れができるのも利点のひとつです。住居部分を含め、ここは趣味のための大きな箱。自分の「好き」が並ぶ宝箱といえるでしょう。

SIMPLE PLAN



※掲載の完成予想CGは計画段階の図面を基に描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合がございます。また、本物件の敷地内を描いたものです。

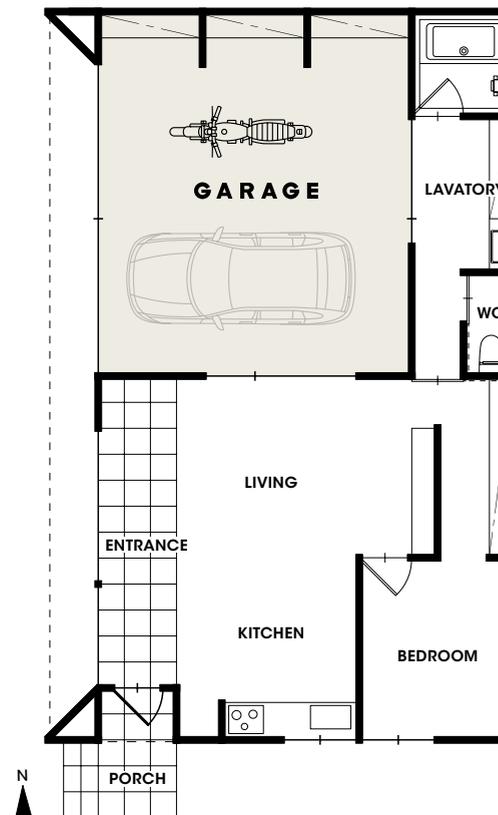
必要なものを配した もうひとつの住まい

愛車を安全に保管するというガレージとしての機能性はそのままに、「ガレージに住む」という乗り物好きの夢をかたちにしたHOMA GARAGEのシンプルプラン。その名の通り、余分なものがないソリッドなデザインは、ほかの何にも似ていないオンリーワンの存在感を誇ります。それでいて周辺の環境に馴染む落ち着いた佇まいは、セカンドハウスとしての奥ゆかしさも感じるでしょう。定住が目的ではなく、自宅プラスアルファの住まい、セカンドハウスとしての所有をメインに想定しているので、外観同様、室内も至ってシンプル。居住スペースはリビングとベッドルームを中心に、バス、トイレ、キッチンなどの水回りのみと必要最低限。あくまでこの家の主役はガレージであると思わされる設計そのものがポイントです。好きなものを集め、大切に保管し、ともに時間を過ごすための宝箱。必要十分なものに囲まれたシンプルでコンパクトな住まいが気づかせてくれることは多いでしょう。ふたつの住まいを持つライフスタイルは、こうしたシンプルなセカンドハウスにより彩られます。

建物本体価格 **1,740**万円～(税抜)

延床面積 / **91.50m²**
(うちガレージ部分 / 34.78m²)

※掲載価格につきましては参考価格となっており、地域・法令・敷地状態、その他の理由により変動がございます。
※掲載価格については、消費税を含まない商品本体の価格であり、建築するには付帯工事や登録に係る手数料等、別途費用が必要となります。
※家具・調度品・植栽・外構工事等はイメージであり本体費用に含まれておりません。



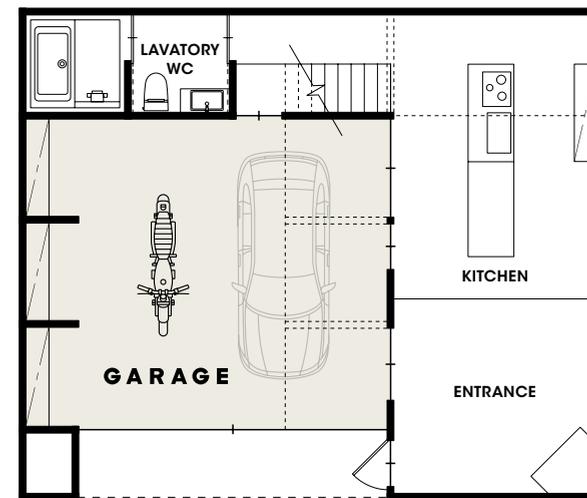
NATURAL PLAN



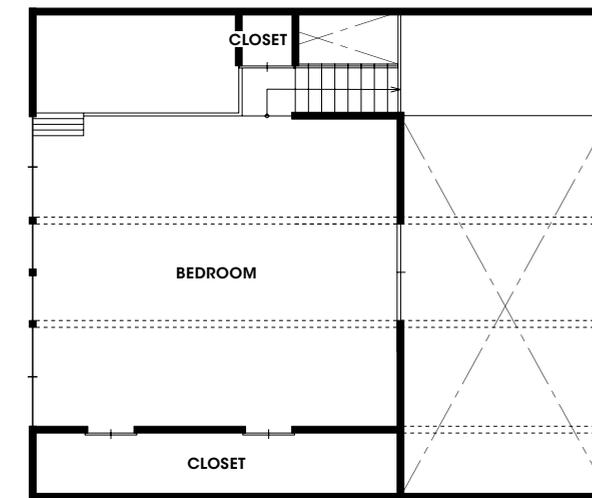
※掲載の完成予想CGは計画段階の図面を基に描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合がございます。また、本物件の敷地内のみを描いたものです。

ウッディな雰囲気は ガレージとも好相性

傾斜した大きな屋根が何よりのアイコンとなっているナチュラルプラン。余分なものがなく上質でスマートなガレージ空間を演出しています。玄関扉すらシャッターの脇に設けることで、ガレージの存在感を強調、アピールするなど、そのガレージハウスとしての作り込み、こだわりには余念がありません。開口部が少ない作りはセキュリティ性が高く、クルマやバイクを保管できるインナーガレージをメインとする住居でありながら、2階建てとすることで家族や仲間との大切な時間を育むスペースも確保しています。1階は大きなアイランドキッチンを中心としたくつろげる空間を用意しており、2階は寝室として使うなど、オーナーの数だけさまざまに活用できます。セカンドハウスとしての利便性はもちろんのこと、長期滞在でも不満に思うことはないでしょう。建坪こそコンパクトですが、2階部分の居住性と吹き抜けを設けたことによる開放感は格別です。ガレージ部分の幅はおよそ5.5m。クルマとバイク数台を収めつつ、季節用品の収納などにも活用できます。



1F



2F

建物本体価格 **1,990**万円～(税抜)

延床面積 / 129.24㎡
(うちガレージ部分 / 34.78㎡)

1階床面積 / 77.11㎡

2階床面積 / 52.13㎡

※掲載価格につきましては参考価格となっており、地域・法令・敷地状態、その他の理由により変動がございます。
※掲載価格については、消費税を含まない商品本体の価格であり、建築するには付帯工事や登録に係る手数料等、別途費用が必要となります。
※家具・調度品・植栽・外構工事等はイメージであり、本体費用に含まれておりません。

SPOTS



一宮海水浴場

物件が建つ千葉県長生郡一宮町は、太平洋に面した人口1万2000人ほどの小さな町。しかし、2020年の東京オリンピックのサーフィン競技会場に選ばれており、町の中心にある上総一ノ宮駅が特急の始発駅ということもあり、人口が増えている元気のある町です。物件から歩いて10分ほどの距離にある一宮海水浴場は、九十九里浜の南端に位置する遠浅のビーチで、約350mに渡って太平洋を望む美しい砂浜が広がります。夏場のマリレジャーはもちろん、オフシーズンの静かな砂浜もまた趣きがあります。また、近辺にはカフェやレストランの出店が増えているので、今後が楽しみなエリアでもあります。



釣ヶ崎海岸の鳥居

一宮町の南部、釣ヶ崎海岸の砂浜に立てられた東浪見（とらみ）の鳥居は、千葉県有数の星空撮影スポットとして、天体ファンやカメラ好きによく知られたスポット。天の川と鳥居が同時に写真に収まるといったファンタジックな光景を目にすることができる国内でも数少ない場所です。また、外房という東側が海に面した土地柄ゆえ、水平線から昇ってくる朝日を愛でることもできるので、時間を問わず特別なひとときを過ごすことができるのも魅力のひとつです。なお、こちらの鳥居はここから1kmほど内陸に進んだ神洗神社のもの。簡素ながら趣きがある佇まいは、鳥居とはまた違った意味でフォトジェニックでもある。



洞庭湖

一宮町の中西部、国道128号線の西側に広がる洞庭湖（どうていこ）は、中国第2位の広さを誇る同名の湖にちなんで名付けられた湖です。江戸時代中期に、起伏に富んだ地形を利用した感慨貯水池として築かれたもので、江戸時代の末期には湖のまわりに桜が植えられ、いまなお桜の名所として地元一宮の人々に愛されています。千葉県立九十九里自然公園に属し、「房総の魅力500選」にも選ばれた豊かな自然が魅力で、春の桜だけでなく、夏にはホタルを鑑賞したり、秋には紅葉を楽しむなど、季節を問わず房総の自然を満喫できます。物件からの距離は約5km、クルマで10分ほど。

MODEL HOUSE



住所／千葉県長生郡一宮町一宮 10073-2
九十九里有料道路終点よりクルマで約3分(2km)
JR外房線・上総一ノ宮駅よりクルマで約4分(2.5km)



COLLABORATION

このたびHOMAとタッグを組んでHOMA GARAGEを世に送り出す雑誌、「Moto NAVI」は、2001年に創刊されたオートバイ専門誌。ありきたりなニューモデルのインプレッションやスクープ情報などよりも、オートバイがある暮らしの魅力をハード（ファッションアイテム、インテリアなど）とソフト（楽しみ方）の両面から紹介しています。オリジナリティの高い誌面構成に定評があり、写真を伸びやかに使ったアートブックのような作りは、同ジャンルの雑誌のなかで異彩を放っています。その理念はHOMA GARAGEのあり方、その根底にも流れているものであり、デザイン性の高さや「スマート・ワン アクティブガレージ」というコンセプトにも共有されているといえます。偶数月24日発売。定価1,200円。navionthewheels.jp

Moto NAVI



HOMA

全国の工務店を対象としたハイエンドなデザイン・設計支援サービスを行う住宅プロジェクト「HOMA（ホーマ）」。住宅の質を左右する「設計」「建材」「職人」の3つの要素を追求し、“価値が成長していく家”をコンセプトに、永く使える普遍的な家を実現。暮らしに合わせて編集できる快適性と、耐震構造+制震システムを標準搭載した安全性の2つを両立している。また、建築家やデザイナーとともに作り上げたこだわりのデザインや、提携工務店との継続的なメンテナンスも行う。